

シルバー いせはら

会報 第2号

平成15年5月15日発行

(社)伊勢原市シルバー人材センター

〒259-1131

伊勢原市伊勢原2-7-31

伊勢原シティプラザ1F

TEL 0463-92-8801

FAX 0463-92-0008

平成14年度 第二回通常総会報告

平成十四年度第二回通常総会が、平成十五年三月二十六日(水)午後一時三十分から伊勢原シティプラザふれあいホールにおいて、出席者二百九十六名(委任状含む)により開催されました。

理事長の挨拶・議長選出・議事録署名人の選出の後、次の議事三件を審議し、承認されました。

報告第一号 専決処分の承認を求めることについて

平成十四年度第二回補正予算補正額一、〇〇〇千円

総額一七一、七三八千円

議案第一号 平成十五年度社団法人伊勢原市シルバー人材センター事業

計画について

議案第二号 平成十五年度社団法人伊勢原市シルバー人材センター収支

予算について

収支予算総額一五〇、三八二千円

(前年予算比△一、一一三千元)



平成十五年度事業計画

1 事業方針

シルバー人材センター設立の趣旨に基づき、高齢者の就業機会の拡大を通じた高齢者の社会参加を促進し、活力ある地域社会の創造に寄与するため、シルバー人材センター事業の普及啓発をさらに進めるとともに、リサイクル事業への取り組みも図りながら、組織の強化と運営の充実を図る。

2 事業実施計画

(1) 高齢者の就業機会の確保
及び提供

公共機関、民間事業所、一般家庭等の利用意向の把握に努め、就業機会の開拓を進めるとともに、会員の多様な就業のニーズに対応しつつ、就業の場の提供を図り、就業を促進する。

また、ワークシェアリング(仕事の分かち合い)等をはじめとした適正就業を促進する。

さらに、シルバー人材センターの理念である「自主・自立・共働・共助」の実現に向け、充実を図る。

① 市内企業ニーズの把握と就業機会の確保
商工会、雇用促進協議会等に参

加の事業所を対象に高齢者の雇用ニーズの把握を図り、就業機会の確保を進める。

② 一般家庭等の利用の拡大
パンフレットの配布を行い、シルバー人材センターの利用意向の発掘に努め、雇用の場の拡大を図る。

③ 行政ニーズの把握と就業機会の増大

市の行政ニーズにおける高齢者への就業の場を把握し、就業機会の増大を図る。

④ 広域的関係団体への参加

(社)全国シルバー人材センター事業協会等への参画を通じ、各種情報の収集に努め、事業の推進を図る。

(2) 高齢者のための無料職業紹介
臨時的就業希望する高齢者による無料職業紹介を引き続き実施する。

(3) 就業に関する技能および知識の研修
高齢者の就業に必要な知識及び技能を習得・習熟するため、講習会・研修会を開催する。

① 介護講習会(ホームヘルパー2級)
② パソコン講習会
③ 裨張替講習会
④ 障子張替講習会
⑤ 植木剪定講習会

⑥ 刈払機操作講習会

(4) 高齢者の就業に関する情報の提供
シルバー人材センター事業に対する理解を深めるため、各種の情報の提供とともに、会員相互の理解と親睦を図り、会員意識の育成を進めるため会報を発行する。

(5) 高齢者の就業に関する相談
就業に関する各種資料の整備に努め、随時相談に応じる。

(6) その他
① 会員の組織活動及び安全対策の推進

ア 広報委員会の組織化
会報の作成・事業のPRを進めるため、広報委員会を組織し、活動の推進を図る。

イ 安全対策委員会の組織化
安全対策委員会を設置し、安全就業を推進するため、交通安全講習会等を実施する。

ウ 健康講習会の実施
会員の病氣予防と健康保持に努め、心身ともに健全な状態で働けるように健康講習会を開催する。

エ リサイクル事業の推進
リサイクル事業を中心とした会員によるシルバーショップの運営等の充実を図る。

エ リサイクル事業の推進
リサイクル事業を中心とした会員によるシルバーショップの運営等の充実を図る。

地域班・職群班について

今回初めて地域班・職群班という言葉を聞く方も多いのではないかと思います。まず、シルバー人材センターとはどういう団体なのか考えてみましょう。

シルバー人材センターは、会員が働くことを通じて広く地域社会に貢献し、自らの生きがいを実感させるといった目的で設立された高齢者の自主的な団体です。

この理念の下で、組織の運営や仕事の開拓・受注等は、会員の豊富な人生経験・社会経験を生かし、自主的・創造的に運営することが必要です。既に各市町センターでも地域班・職群班の会員組織の結成が行われています。

地域班

地域班は、会員相互の連帯意識と親睦を基調に、センターと会員との緊密な連絡体制を整え、積極的に事業の効果を高めるとともに、地域の発展に貢献することにあります。

例えば、センターからの連絡事項を会員へ伝達するための文書・会報等の配布、センター役員・事務局と会員とのパイプ役、会員相互の交流・親睦のための事業の企画実施、ボランティア活動・各種文化活動の企画実施等があります。地域班の結成は今後の検討課題です。

職群班

職群班は、会員の共働・共助を基本とした連帯意識と親睦を基調とした安全な作業遂行を促進することにより事業の効果を高めることにあります。

職群班の主な役割と具体的な活動としては例えば、グループ内で仕事の配分の調整、仕事の手順・方針の徹底、進捗状況の確認、安全・適性就業の徹底、技能系職種の会員確保及び後継者の育成、技術・技能の習熟と向上のための訓練等があります。

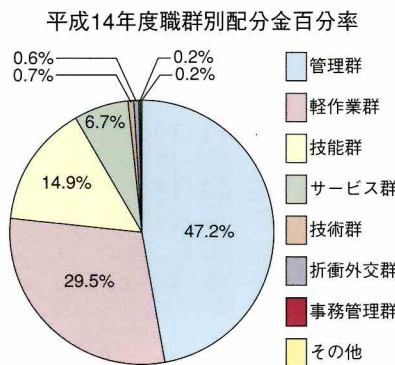
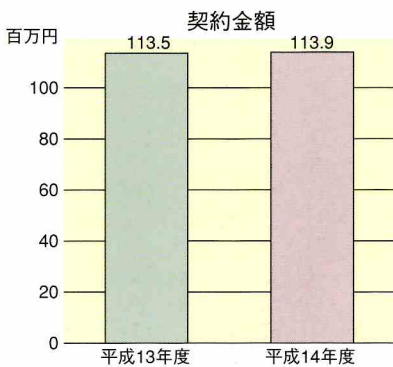
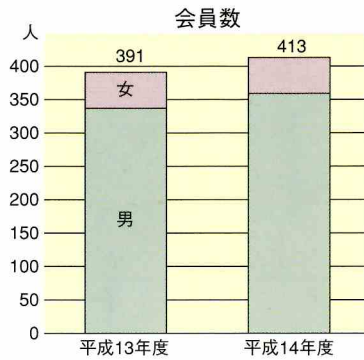
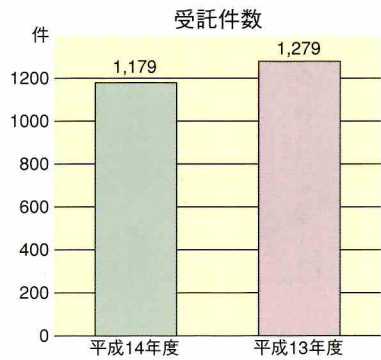
当センターでは平成十五年度から、リサイクル班を結成して活動を開始しています。今後徐々に増やしていく方針です。

ワーキングエイリングについて

会員の希望職種をみると、公共施設管理業務は非常に多く、特に駐輪場管理業務は新しい会員の就業できる機会が少ないのが実情でした。今年度から一人でも多くの会員への就業機会の提供を目的に、ワーキングエイリング(仕事の分かち合い)を導入し、適正就業の推進をします。

既に、駐輪場管理業務の就業会員及び未就業会員を対象に説明会を開催し、四月から増員の体制を敷いています。

平成14年度実績報告



ますます厳しさを増す経済情勢のなかで、平成十四年度の実績は会員数・受託件数・契約金額の各項目でいずれも前年度比増加をみました。
左記の棒グラフは平成十四年度を平成十三年度と比較したものです。主な指標である会員数は五・六%増加・受託件数は八・五%増加・契約金額は〇・三%の微増でした。

また、職群別配分金は円グラフで示すとおり、管理群・軽作業群・技能群の三群で九一・六%に達し、技術群・折衝外交群・事務管理群は相変わらず少ない傾向が続いています。
平成十四年度実績が何とか前年度を上回ったのも、会員の皆様方および関係者各位のご協力によるものと、厚くお礼を申し上げます。

私が定年退職した年に、「かながわゆめ国体」が県内各地で開催されて、その時市の大会協力員の委嘱を受けて、記録写真の部で参加しました。
当時、市に発足したシルバー人材センターの高齢者に対する職業案内の募集で会員となつてから、主として剪定作業でセンターのお世話になっております。
余暇に近郷の里山をハイキングして、樹木に蔓が絡み、立ち枯れた巨木の息苦しく悲惨な光景が気になつて、ボランティアで環境と緑を守る運動に賛助したいと考えました。そこで行政機関の指導する研修を受講し、県知事の認定による森林保全推進委員として、地域の環境保全活動を行っています。活動は地域の山野における、危険箇所や不法投棄物・落石倒木・巨木の



蔓に絡まれ立枯れた巨木

山野から社寺の境内や公園・庭木まで蔓に絡まれた枯死寸前の巨木が見られます。環境保全や水源の涵養、災害防止等国民の貴重な財産を後世に引き継ぐため関係者等と蔓の除去に尽力して、自然環境保全と豊かな森作りに、今後とも体力に応じ協力します。

投稿

わたしのボランティア活動

会員番号三四〇 村越 茂喜

自然環境保全と

豊かな森作りのために...

私が定年退職した年に、「かながわゆめ国体」が県内各地で開催されて、その時市の大会協力員の委嘱を受けて、記録写真の部で参加しました。

蔓の除去等について、写真を添えて報告処理され、自信と希望を持つて実施しています。

地球温暖化や酸性雨の影響と言われる山中で、隆盛な巨木の傍らに蔓に絡まれ立ち枯れた樹は、紛れもない蔓が原因の現象と慮されます。

●平成15年度講習会開催計画

今年度は技術習得等の講習会を次のとおり計画しています。講習会等のご要望があれば事務局までご連絡ください。

①ホームヘルパー2級課程講習

日時 平成15年7月7日(月)～8月13日(水)18日間

右記日程終了後4日間の見学・実習あり

場所 伊勢原シテイプラザふれあいホール

人員 50名

内容 講義および見学・実習

主催 (社)神奈川県シルバー人材センター連合会

共催 (社)伊勢原市シルバー人材センター

(社)秦野市シルバー人材センター

揭示 市広報いせはら6月1日号

②パソコン実務応用講習

日時 平成15年9月 5日間
場所 アマダ情報サービス

人員 20名

内容 実務・応用編

主催 (社)神奈川県シルバー人材センター連合会

共催 (社)伊勢原市シルバー人材センター

協力団体 伊勢原市商工会
揭示 市広報いせはら7月頃

●事務局からのお知らせ

1 配分金支払日のお知らせ

配分金支払いは銀行・信用金庫または農協への振込みになります。平成15年6月から12月までの支払日は次の通りです。

5月分	6月13日(金)
6月分	7月15日(火)
7月分	8月15日(金)
8月分	9月12日(金)
9月分	10月15日(水)
10月分	11月14日(金)
11月分	12月15日(月)

2 投稿のお願い

会員相互のコミュニケーションをはかるため、今回から次のテーマでコラムを設けました。会員の皆様方からの投稿をお待ちしています。

テーマ ①私のボランティア活動

②私の趣味

③我が家の自慢

字数 450字以内

関連する写真があれば添付してください。

その他、会報に関するご希望ご意見も遠慮なくお寄せください。

3 就業希望者募集のお知らせ

次の職種で就業希望の方は、事務局までご連絡ください。

開店日時

平成15年4月から第1週・第3週の金曜日・土曜日午前9時～午後4時

場所

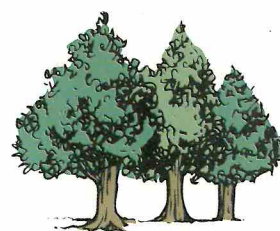
(社)伊勢原市シルバー人材センター八幡台作業所内
伊勢原市八幡台2丁目
最寄りのバス停 団地南口
(伊勢原駅南口から団地経由 平塚行バスに乘車)

ふれあいショップ 開店のお知らせ

今年度からリサイクル家具の展示販売を専門に行うふれあいショップを開店することになりました。

皆様方のご来店をお待ちしています。

- ① 早朝の屋内外清掃業務
- ② 放置自転車指導業務
- ③ 襖張り・障子張り



事務局人事異動

3月31日付退職 庶務 中村 俊彦
5月1日付採用 嘱託 喜多野昌男

編集後記

◎ 会報第2号は平成十五年度事業計画特集です。経済の長期低迷にともない、平成十四年度の契約金額は前年度比微増に推移し、今後共楽観を許されない状況です。今年度も事務局一同身を引き締め改善・改革に取り組む決意です。
◎ 本号の投稿欄には会員の村越さんに登場していただきました。近郊の山々を歩きまわると立ち枯れた木を多く見かけます。自然環境保護のためのボランティア活動には頭がさがります。(S)